



令和元年

別府市特別功労表彰

11月3日「文化の日」、別府市は市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに貢献された方の功績をたたえ表彰しました。

「特別功労表彰」を受賞された9人1団体の方々、「功労表彰」を受賞された13人3団体の方々を紹介します。(順不同)

かたやま かずこ
片山 一子さん



昭和63年に民生委員児童委員に委嘱され、一人暮らし高齢者などの見守り続け、関係機関と連携し、行政と地域のパイプ役として尽力された。平成22年からは別府市民生委員児童委員協議会の副会長として協議会を牽引し、地域福祉の向上に努めている。また、別府市地域包括支援センター運営委員委員会などの役職を担っており、地域福祉の増進に貢献されている。

とやま けんいち
外山 健一さん



平成17年から別府市文化財保護審議会委員として、別府市の文化財を保護し活用していくよう、専門的な立場から指導されている。また、「べっぶの文化財No.41・別府市の近代化遺産」や「べっぶの文化財No.49・別府築港」など多くの著書を執筆され、市民への別府の歴史の啓発も行っており、文化財行政に寄与されている。

にし ちかのり
西 親則さん



平成4年から別府市陸上競技協会理事に就任、平成11年から副会長を務められ、陸上競技の普及、振興を図り青少年の健全育成並びに競技力向上発展に寄与されている。平成4年から大分マスターズ陸上競技連盟の役員を務め、現在は副会長として生涯スポーツの普及に尽力し、「健康寿命延伸」の実現に向け心身の維持増進に貢献されている。

みやざき みき子
宮崎 みき子さん



平成19年から12年にわたり人権擁護委員を務められ、子どもに寄り添った活動を行うとともに、社会的弱者に対する人権問題に係る事案に対し、人権相談・啓発・救済などの各種人権擁護活動に従事された。別府市市民相談においても、様々な悩みを抱える人からの相談を解決するため、援助を積極的に行うなど地域福祉の増進に貢献された。

けさまる あいこ
今朝丸 愛子さん



平成12年から別府市バドミントン協会副会長として、バドミントンの普及、指導、振興活動に長年尽力されている。また、大分県レディスバドミントン連盟、別府市レディスバドミントン連盟の設立に携わり、女性の競技力向上に寄与された。地域のジュニアバドミントンや障がい者スポーツの普及にも尽力され、生涯スポーツの増進に貢献されている。

ふじい てるひさ
藤井 照久さん



昭和49年から学校薬剤師として薬物乱用防止活動や地域保健活動など学校環境衛生活動に尽力された。また昭和50年には別府市薬剤師会理事として、平成4年には副会長として、全国モデルとなった処方箋FAXコーナー設置事業を進め、医薬分業に大きく寄与された。地域医療の充実並びに教育環境の整備に多大な貢献をされている。

しろした こう
城下 功さん



昭和60年から別府市歯科医師会の理事、平成15年に副会長、平成18年には会長として会員の学術の研鑽をはかり、医療の向上に努めるとともに、地域医療保健の普及向上に尽力された。歯科医院でのAEDの設置、訪問診療車の導入、口腔外科診療の開設、フッ化物洗口の実施など地域歯科医療の充実にも多大に貢献された。

たかはし まもる
高橋 護さん



平成13年から別府市教育委員会委員に就任し、平成16年には教育委員長として教育の増進に貢献された。奨学金制度の適正な実施の取り決めや、4回にわたる小中学校統合の際には地域住民の多種多様な意見を取りまとめ、解決に導くなど、地域教育行政の増進に貢献された。

わたなべ すみお
渡部 純郎さん



平成18年から別府市医師会理事、平成28年には副会長に就任し、「ゆけむり医療ネット」を立ち上げ、全国でも先進的な地域医療連携ネットワークの構築に尽力された。また「在宅医療連携拠点事業」においても別府市内における医療介護の多職種連携を進められ、地域医療の増進に貢献された。

ポランティアグループ 濱脇野ぎくの会
代表 宮崎 トシ子さん



平成7年に設立されて以来、社会教育活動総合事業の家庭教育学級において託児ポランティアを行うなど、子どもたちと触れ合いながら、乳幼児・児童・青少年の健全育成に尽力されている。また、市主催の海岸清掃活動や地域の諸行事にも毎年積極的に参加しており、地域の社会教育、住民福祉の向上に貢献されている。

令和元年

別府市功労表彰

(敬称略・順不同)

自治部門

高森 克史 佐藤 勝利
首藤 正喜

公共福祉部門

佐藤 秀男 梶川 不二夫
脇博之 梶原 聡博
佐藤 隆博 大田 稔
佐藤 文明
別府溝部学園高等学校
生徒会

教育・文化・スポーツ部門

後藤 孝雄 佐野 敏広
岩本 貴光
萬洋クラブ

市民活動部門

あいKusunoki

特別功労表彰

氏名 (敬称略)	片山 一子
役職等	別府市民生委員児童委員協議会副会長 春木川地区民生委員児童委員協議会会長
功績内容	昭和63年に民生委員児童委員に委嘱され、一人暮らし高齢者や高齢世帯等の見守りを続け、行政等関係機関と密に連携し、地域住民のパイプ役として尽力された。平成22年からは別府市民生委員児童委員協議会の副会長として協議会を牽引し、地域福祉の向上に努めている。また、別府市地域包括支援センター運営委員会委員など多くの社会福祉関係機関の役職を担っており、地域福祉の増進に貢献されている。

氏名 (敬称略)	外山 健一
役職等	別府市文化財保護審議会副会長
功績内容	平成17年から別府市文化財保護審議会委員として、別府市の文化財を保護し活用していくよう、専門的な立場から指導されている。また、「べっぶの文化財No4 1-別府市の近代化遺産-」や「べっぶの文化財No4 9-別府築港-」など多くの著書を執筆され、市民への別府の歴史の啓発も行っており、文化財行政に貢献されている。

氏名 (敬称略)	西 親則
役職等	別府市陸上競技協会副会長 大分マスターズ陸上競技連盟副会長
功績内容	平成4年から別府市陸上競技協会理事に就任、平成11年から副会長を務められ、陸上競技の普及、振興を図り青少年の健全育成並びに競技力向上発展に寄与されている。 平成4年から大分マスターズ陸上競技連盟の役員を務め、現在は副会長として生涯スポーツの普及に尽力し、「健康寿命延伸」の実現に向けマスターズ陸上競技を通じて心身の維持増進に貢献されている。

氏名 (敬称略)	宮崎 みき子
役職等	前人権擁護委員
功績内容	平成19年から12年にわたり人権擁護委員を務められ、子どもに寄り添った活動を行うとともに、社会的弱者に対する人権問題に係る事案に対し、人権相談、人権啓発、人権救済などの各種人権擁護活動に積極的に従事された。別府市市民相談においても、さまざまな悩みを抱える方からの相談を解決するため、援助を積極的に行うなど地域福祉の増進に貢献された。

特別功労表彰

氏名 (敬称略)	今朝丸 愛子
役職等	別府市バドミントン協会副会長 別府市レディスバドミントン連盟理事長
功績内容	<p>平成12年から長年にわたり別府市バドミントン協会副会長として、バドミントンの普及、指導、振興活動に尽力されている。また、大分県レディスバドミントン連盟、別府市レディスバドミントン連盟の設立に携わり、女性の競技力向上に寄与された。</p> <p>地域におけるジュニアバドミントンや障がい者スポーツの普及にも尽力され、生涯スポーツの増進に貢献されている。</p>

氏名 (敬称略)	藤井 照久
役職等	前別府市薬剤師会副会長
功績内容	<p>昭和49年から学校薬剤師として薬物乱用防止活動や地域保健活動など学校環境衛生活動に尽力された。</p> <p>また昭和50年には別府市薬剤師会理事として、平成4年には副会長として、全国モデルとなった処方箋FAXコーナー設置事業を進め、医薬分業に大きく寄与された。地域医療の充実並びに教育環境の整備に多大な貢献をされている。</p>

氏名 (敬称略)	城下 功
役職等	別府市歯科医師会監事 前別府市歯科医師会会長
功績内容	<p>昭和60年から別府市歯科医師会の理事、平成15年に副会長、平成18年には会長として会員の学術の研鑽をはかり、医療の向上に努めるとともに、地域医療、保健の普及向上に尽力された。歯科医院でのAEDの設置、訪問診療車の導入、口腔外科診療の開設、フッ化物洗口の実施など地域歯科医療の充実にも多大に貢献された。</p>

氏名 (敬称略)	高橋 護
役職等	前別府市教育委員会委員
功績内容	<p>平成13年から別府市教育委員会委員に就任し、平成16年には教育委員長として教育の推進に貢献された。奨学金制度の適正な実施の取り決めや、4回にわたる小中学校統合の際には地域住民の多種多様な意見を取りまとめ、解決に導くなど、地域教育行政の推進に貢献された。</p>

特別功労表彰

氏名 (敬称略)	渡部 純郎
役職等	前別府市医師会副会長
功績内容	<p>平成18年から別府市医師会理事、平成28年には副会長に就任し、「ゆけむり医療ネット」を立ち上げ、全国でも先進的な地域医療連携ネットワークの構築に尽力された。また「在宅医療連携拠点事業」においても別府市内における医療、介護の多職種連携を進められ、地域医療の推進に貢献された。</p>

氏名 (敬称略)	ボランティアグループ 浜脇野ぎくの会
役職等	ボランティア団体 社会教育関係団体
功績内容	<p>平成7年に設立されて以来、社会教育活動総合事業の家庭教育学級において託児ボランティアを行うなど、子どもたちと触れ合いながら、乳幼児・児童・青少年の健全育成に尽力されている。また、市主催の海岸海浜清掃活動や地域の諸行事にも毎年積極的に参加しており、地域の社会教育、住民福祉の向上に貢献されている。</p>

功労表彰

自治部門（3名）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
高森 克史	平成22年から8年以上にわたり別府市監査委員として、優れた識見を有し市の事務事業、特に工事関係の執行について効率的かつ適正な監査を実施された。
佐藤 勝利	平成19年から北浜二丁目自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努められている。
首藤 正喜	平成19年から石垣東六丁目（六、七丁目）自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努められている。平成24年からは自治委員会石垣地区の副支部長として石垣東六丁目のみならず8町からなる石垣地区全体の地域融和に大きく貢献している。

公共福祉部門（7名・1団体）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
佐藤 秀男	平成13年に別府商工会議所議員に就任して以来、地域商工業発展のために献身的に努力されている。また、10年にわたり、常議員や監事などの要職を歴任されている。
別府溝部学園高等学校 生徒会	「亀川クリーン作戦」と称し、昭和57年より生徒会を中心に全校生徒による清掃活動を年2回実施されている。伝統的活動の一つとして今年度で38年目、71回の活動を重ね、地域の環境美化や住民との交流など地域活動に貢献されている。
梶川 不二夫	平成15年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更生援助に尽力されている。また、「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加し、その発展に貢献されているとともに、保護司会の各種事業促進に貢献されている。
脇 博之	平成元年に消防団員を拝命、平成6年に班長、平成18年に副分団長、平成26年に分団長へ昇任し、現在は第8分団の分団長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、各種会合等に率先して出席し地区住民に対しても火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っている。

功労表彰

公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

梶原 聡博	昭和63年に消防団員を拝命、平成14年に班長、平成25年に部長へ昇任し、現在は第17分団の部長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、各種会合等に率先して出席し地区住民に対しても火災予防の啓発に努められている。
佐藤 隆博	平成元年に消防団員を拝命、平成10年に班長、平成14年に部長へ昇任し、第6分団の部長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術向上を図った。また、地域住民と連携を保ち、火災予防の啓発に努められ住民から信頼を集めている。平成27年に副分団長へ昇任し消防団本部への異動となり、平成29年に分団長へ昇任、団長、副団長を補佐し、リーダー的存在として活躍されている。
大田 稔	平成元年に消防団員を拝命、平成13年に班長、平成18年に部長、平成27年に副分団長へ昇任し、現在第8分団2部の副分団長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、各種会合等に率先して出席し地区住民に対しても火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っている。
佐藤 文明	昭和63年に消防団員を拝命、平成16年に班長、平成22年に部長、平成31年に副分団長へ昇任し、現在第15分団の副分団長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、各種会合等に率先して出席し地区住民に対しても火災予防の啓発に努められている。

教育・文化・スポーツ部門 (3名・1団体)

(敬称略・順不同)

氏名	功績内容
後藤 孝雄	昭和58年から別府市剣道連盟下の指導者の一人として、別府剣道教室(現:別府劔龍館)にて少年剣士の育成と技術の向上発展のために尽力され、多くの剣士を輩出し、長年にわたる剣道の普及・発展における功績は多大である。平成9年からは別府市剣道連盟会計局長、監事を歴任され、連盟の運営にも貢献されている。
佐野 敏広	平成21年から別府市陸上競技協会理事として会の運営、普及・発展に寄与され陸上競技の向上に尽力されている。長距離選手として活躍されるとともに、県内一周駅伝の監督として3度の準優勝に貢献され、指導者として優秀な成績を収められている。
萬洋クラブ	昭和47年に設立され、令和元年に行われた第2回全日本シニア軟式野球大会では、3位の優秀な成績を収められている。
岩本 貴光	平成25年から別府大学剣道部監督に就任され、平成28年からは明豊高校剣道部監督を兼任。平成29年の全日本学生剣道大会で3位、平成31年には全国高等学校剣道選抜大会準優勝、魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会3位と、指導者として優秀な成績を収められている。

功勞表彰

市民活動部門（1団体）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
あいKusunoki	昭和44年から親子二代にわたり、毎年6月10日の「時の記念日」に目覚まし時計を寄贈されている。今年で50回目を迎え、地域福祉に多大な貢献をされている。